

機関番号：14401
 研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2008～2010
 課題番号：20520327
 研究課題名（和文） 1940年代中華圏における文学の複数性—地域・メディア・制度の視点から
 研究課題名（英文） The plural of literature in China in 1940's -- from the viewpoints of region, media, and system
 研究代表者
 今泉 秀人（IMAIZUMI HIDETO）
 大阪大学・世界言語研究センター・准教授
 研究者番号：00263343

研究成果の概要（和文）：日中戦争（1937－1945）と国共内戦（1945－1949）を背景とする1940年代の、いわゆる中華圏(中国語圏)の諸地域における文学的営為、つまり小説や散文、演劇や映画、またそれらを規定し支える文学の場としての制度や人間関係を対象として、それらの時代的特徴を、新たに、1940年代における「地域」・「メディア」・「制度」という三つのテーマにおいて、従来とは異なる多眼的な視点から、複数の「関係性」として捉えなおした。

研究成果の概要（英文）：This research considers literary works, literary systems and interpersonal relationships of writers in various regions of China in 1940's, and re-studies characteristics of that era in China from three themes--region, media and system.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2009年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2010年度	1,000,000	300,000	1,300,000
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・各国文学・文学論

キーワード：1940年代、中国現代文学、地域文学、戦争、文学メディア、文学制度

1. 研究開始当初の背景

本研究は、中華圏（中国語圏）の近代文学を対象とするものとしては比較的大きな規模を持つ共同研究である。もともと既に四十年以上の歴史を持つ、関西地区の中国近現代文学研究者が実質的な運営を行ってきた全

国規模の研究学会組織である「中国文芸研究会」に所属する十数人が、研究会内研究グループとして集った「40年代文学“漂泊”研究会」がこの共同研究の母体となった。

2. 研究の目的

日中戦争と国共内戦を背景とする1940年代の中華圏の諸地域における文学的営為の時代的特徴を、新たに三つのテーマにおいて捉える。具体的には、1940年代における「地域」、「メディア」、「(文学)制度」である。この三点を軸として文学活動の地域的な多様性や、作品媒体の多様性、また文学を成立させる「制度」の複雑性について整理し、相互の関係性を明らかにする。これまで政治体制や地域によって括られ、その枠内で価値付けられてきた1940年代文学を、中華圏という新しい大枠を設定し、複数の「関係性」として捉えなおす。

3. 研究の方法

本研究は、(1)1940年代文学研究に関連する基礎文献の収集と解読(文献の整理を含む)、(2)共同研究参加者相互の情報交換と研究報告を行うための例会の運営開催、を二本の柱とする。

(1)現在中国で続々と刊行が進んでいる『民国珍稀期刊』(北京・全国図書館文献縮微複製中心刊行)のうち、本研究にかかわりの深いものを収集し、今後議論を展開する素地となる資料を利用しやすい形に整える。その他の中国現代文学および文学方法論関係、また1940年代に関わる文献や戦争に関わる文献を収集する。

(2)もうひとつの柱として、研究発表会を開催する。以下の分科会を中心として、それぞれの研究対象から1940年代中華文化圏を照射した報告を進める。

①「地域」分科会

宇野木洋、星名宏修、松浦恆雄は、「地域」分科会を担当する。「地域」分科会では、必ずしも政治的な尺度のみにとらわれることなく、中華圏文学の複数並立性といったような状

況を地域という観点から浮き彫りにする作業を行う。

②「メディア」分科会

西村正男、藤野真子、三須祐介は「メディア」分科会を担当する。活字化された文学と、文字化されない文学を相対化して見つめることによって、1940年代に顕著な文学の商品化とそれをめぐる文学の変容とを新たな視点を導入して見極めようとするものである。

③「制度」分科会

今泉秀人、濱田麻矢、福家道信、大東和重は「制度」分科会を担当する。作り手にかかわる事項中心の文学史的記述を脱し、移動し伝播し流通し変化する制度としての文学テキストと受容者としての読者の諸相に着目することによって1940年代文学空間に対する新しい視座を獲得するものである。

4. 研究成果

本研究の成果は、日中戦争と国共内戦を背景とする1940年代の、いわゆる中華圏の諸地域における小説や散文、演劇や映画、またそれらを規定し支える文学の場としての制度や人間関係を対象として、その時代的特徴を、地域・メディア・制度という三つのテーマにおいて、従来とは異なる多眼的な視点から捉え得たところにあると言える。

これらの成果を総括するものとして2010年8月31日、中国文芸研究会夏合宿(兵庫)において、包括的な報告会を行った。報告者は、今泉秀人、宇野木洋、松浦恆雄、藤野真子、西村正男、大東和重の6名であった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計22件)

- ①星名宏修 司法的同一性と「贗」日本人—林熊生「指紋」をめぐって・その2、立命館文学、査読有、615、129-143、2010
- ②福家道信 沈従文の見果てぬ夢、現代中国、84、89-101、2010、査読有
- ③西村正男 抑圧された「音の小説」—蕭乾『夢之谷』を読む、野草、査読有、85、1-15、2010
- ④三須祐介 クィアな、蟬の、声—林懷民の「同志小説」を読む—、未名、査読無、28、59-77、2010
- ⑤松浦恆雄 中国現代都市演劇における特刊の役割—民国初年の特刊を中心に、野草、査読有、85、16-33、2010
- ⑥宇野木洋 「文芸思想闘争」の実態に関わる研究の現在—李向東・王増如『丁陳反党集団冤案始末』の紹介を兼ねて、野草、査読有、84、82-95、2009
- ⑦福家道信 文革中の沈従文の小説「来的是誰」、文学・芸術・文化 近畿大学文芸学部論集、査読無、21-1、41-76、2009
- ⑧星名宏修 台湾文学研究、この10年、これからの10年、日本台湾学会報、査読有、11、67-69、2009
- ⑨星名宏修 ラジオと「蕃地」—中山侑のラジオドラマを読む、大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター編 往来する都市文化—《断片》から探るアジアのネットワーク、査読無、37-58、2009.
- ⑩濱田麻矢 朱天文『古都』与胡蘭成的美学、学苑出版社 励耘学刊文学卷、査読有、9、157-166、2009
- ⑪今泉秀人 ふたりの童養媳：沈従文『蕭蕭』の成就、野草、査読有、83、34-53、2008
- ⑫松浦恆雄 田漢『白蛇伝』の現代性、野草、査読有、83、25-44、2008
- ⑬藤野真子 周信芳と「劇評家」、野草、査

読有、82、74~95、2008

〔学会発表〕(計31件)

- ①福家道信 聞一多と沈従文、日本聞一多学会、2010.12.4、(東京)
- ②星名宏修 何謂「海外進出」：試析紺谷淑藻郎海口印象記、跨國的殖民記憶與冷戰經驗：台灣文學的比較文學研究國際學術研討會、2010.11.19、(台湾)
- ③松浦恆雄 四大名旦与特刊、第二屆「中日両国的傳統都市与市民生活」國際學術研討會、2010.9.25、(上海)
- ④今泉秀人 沈従文と教科書編纂事業、中国文芸研究会夏合宿、2010.8.31、(兵庫)
- ⑤大東和重 郁達夫と温梓川—海峽植民地ペナンにおける華文文学、中国文芸研究会夏合宿、2010.8.31、(兵庫)
- ⑥松浦恆雄 民国文化における傳統演劇の位置、中国文芸研究会夏合宿、2010.8.31、(兵庫)
- ⑦宇野木洋 「民族形式」論争(1939~42年)をめぐる問題群について、民国文化における傳統演劇の位置、中国文芸研究会夏合宿、2010.8.31、(兵庫)
- ⑧西村正男 李香蘭の自伝とそれに関する諸問題、中国文芸研究会夏合宿、2010.8.31、(兵庫)
- ⑨福家道信 沈従文の小説創作への思い、日本中国学会、2009.10.11、(東京)
- ⑩今泉秀人 1940年代の沈従文、2009.6.28 中国文芸研究会、(大阪)
- ⑪三須祐介 “演劇”化する申曲、2009.5.31、中国文芸研究会、(大阪)
- ⑫三須祐介 抗戦期の滬劇一曲から劇へ、国際共同シンポジウム「帝国主義と文学」、2008.8.3、(名古屋)
- ⑬藤野真子 民国期上海における京劇と地方劇の展開、第五十三回東方学者会議シンポ

ジウム「中国近世文藝に見る都市と農村」、
東方学会 2008.5.16、(東京)

〔図書〕(計13件)

- ①松浦恆雄 (共著) 王徳威他編、帝国主義と文学、一九三〇—一九四〇年代の女子越劇と新劇・特刊、松浦恆雄、『帝国主義と文学』、493-516、研文出版、2010
- ②西村正男 (共著) 王徳威他編、帝国主義と文学、日本語・中国語双方の文脈における戦争の語りとスパイ像—鄭蘋如を例として、394-411、研文出版、2010
- ③藤野真子 (共著) 田仲一成他編、中国近世文芸論—農村祭祀から都市芸能へ、243-270、東方書店、2009
- ④宇野木洋 (共著) 日本現代中国学会編、新中国の60年—毛沢東から胡錦濤までの連続と不連続、161-185、創土社、2009
- ⑤松浦恆雄 (共著) 廖炳惠・黄英哲・垂水千恵・松浦恆雄共編、越境するテキスト、1-434、研文出版、2008
- ⑥星名宏修 「読者大衆」とは誰のことか? 廖炳惠・黄英哲・垂水千恵・松浦恆雄共編、越境するテキスト、195-207、研文出版、2008

6. 研究組織

(1) 研究代表者

今泉 秀人 (IMAIZUMI HIDETO)
大阪大学・世界言語研究センター・准教授
研究者番号：00263343

(2) 研究分担者

松浦 恆雄 (MATSUURA TSUNEO)
大阪市立大学・文学研究科・教授
研究者番号：20173792

濱田 麻矢 (HAMADA MAYA)
神戸大学・人文学研究科・准教授

研究者番号：90293951

福家 道信 (HUKU MICHINOBU)
近畿大学・文芸学部・教授
研究者番号：00156811

宇野木 洋 (UNOKI YO)
立命館大学・文学部・教授
研究者番号：40168737

星名 宏修 (HOSHINA HIRONOBU)
一橋大学・言語社会研究科・准教授
研究者番号：00284943

藤野 真子 (FUJINO NAOKO)
関西学院大学・商学部・准教授
研究者番号：20332653
(2009 から分担者として参画)

西村 正男 (NISHIMURA MASAO)
関西学院大学・社会学部・准教授
研究者番号：80302652

大東 和重 (OHIGASHI KAZUSHIGE)
近畿大学・文芸学部・准教授
研究者番号：60434859

三須 祐介 (MISU YUSUKE)
広島経済大学・経済学部・准教授
研究者番号：60339653
(2009 まで分担者として参画)

(3) 連携研究者

絹川 浩敏 (KINUKAWA HIROTOSHI)
立命館大学・経営学部・准教授
研究者番号：20288616